Summary

Though *Heterotropa ikegamii* F. Maekawa had already been appeared in a cytotaxonomic study (Ono 1960), it remained as unpublished name. *H. ikegamii*, distributed in Niigata Pref. in the Japan Sea side of Honshu, is similar to *H. megacalyx*, but apparently distinguishable from that in calyx and pistil characters. *H. megacalyx* is also distributed in the Japan Sea side of Honshu. It is noticeble that in the research area *H. ikegamii* is almost limited in the area outside of the Fossa Magna region while *H. megacalyx* limited in the Fossa Magna region.

□豊国秀夫(編)：**植物学ラテン語辞典** 386 pp. 1987. 至文堂，東京. ¥9,000. 植物の学名を扱うためのラテン語の参考書としては，朝比奈・清水の植物薬物学名典範と牧野・清水の植物学名辞典くらいしかなかったが，本書は両者をとりまとめたような本で，期待していた人も多いことだろう。辞典部ではラ-和(約7800語)とともに，これまで無かった植物学和-ラ辞典(約5400語)が作られたことで，有用性はずっと大きくなった。物質名や花粉学用語などがふんだんにみられるのも有難い。文法部は50頁で，長野県植物研究会誌に連載された記事を骨子とし，ラテン語に堪能な編者の知識を駆使して，いずれも具体例をあげてわかり易く解説している。植物の新名発表に義務付けられている，ラテン語の記載文や特徴記述 (diagnosis—編者訳) の作文は容易なものではないが，本書の出現により，学名のつけ放しをする者は言い訳がしにくくなることだろう。新学名の発表は，混乱をおそれて専門家にまかすべきであるとの意見の人もあるが，私たちはこういう本を参考に誰でも発表できる方がよいと考える。どういう発表のしかたをするかは，本人の教養の問題であろう。 (金井弘夫・清水建美)

□大塚孝一：**長野県のシダ植物** 160 pp. 1987. 信毎書籍出版センター，長野. ¥3,500. 著者は長野県に生まれ信州大学と金沢大学大学院でシダを専攻，現在も長野県庁に勤務の傍ら研究を続けているが，この本は長年の調査結果をまとめたものである。長野県産シダ植物は 235 種，目録には変種・品種別に県内での産地が詳しく挙げてある。別項目で，分類地理学上注目される種類23種，本県に分布する暖地性シダ，県産のシダの雑種35種，県内30地域の シダフロラの案内，などが記されている。カラーの生態写真17個(以前著者が発見命名した雑種クモイワトラノオなど)，分布図12個，白黒の標本写真224個がある。写真は鮮明で特徴がよくわかり，シダ図鑑としても使うことができる。発行所の宛先は長野市西和田 470。 (伊藤 洋)